

有縁の皆さんでお読み下さい

阿弥陀如来は 父の如く教え 母の如く誨え 念仏道を歩めしむ

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.326



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

七月十五日（土）

午前九時半から十一時半まで

彦根愛昇殿

高宮町 一四三二 〇七四九ー二五ー〇〇〇四

親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃
親鸞聖人讃仰

彦根組 特別布教

日程 午前九時半 彦根組「総追悼法要」

午前十時 法話 犬上組 本光寺

田中 康勝 師

午前十時五十分 法話 愛知上組 願正寺

青峰 明誓 師

午前十一時半終了

※お車で参りの場合は、愛昇殿正面の大駐車場（百八十台収容）をご利用ください。

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記の QR コードを、スマホの QR コードリーダーで読み込んでください。

7月25日（火）
10:00~12:00 13:30~15:30
こんき常例布教
法話：愛荘町了教寺 藤岡 俊彦 師

純正寺の法要は「YouTube」「facebooklive」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

さるべき業縁ごうえんのもよほさば
いかなるふるまひもすべし

悔しい誹謗中傷

先日、あるお寺に布教のご縁をいただいでお参りさせていただきました。すると、ご住職が「何故、このようなことになるのですよ、うね」と悔しそうにおっしゃいました。教区の季刊誌の、表紙を飾る子どもの写真の提供を求められて、お寺で運営されている子ども園の園児たちが本堂に向かって手を合わせている写真を提供したところ、その写真が掲載された季刊誌の表紙がインターネット上に公開されて、それを見た不特定の人たちから誹謗中傷を浴びせられたというのです。とてもほほえましい写

真が、何故誹謗中傷のターゲットになったのかというと、表紙のその写真の下に今宗派内で大問題になっている「ある文章」が掲載されていたからです。

この問題になっている文章と、園児たちの写真には何の関連もありません。ただ、この季刊誌の表紙には毎回、幼稚園や保育園、子ども園の子どもたちの可愛いらしい写真が掲載されているだけのことなのです。なのに「この問題のある文章を広めるために、何の関係もない子どもたちを利用している。何とも汚い行為だ。そもそも、この写真の姿も大人が子どもに強制したも

のではないのか」というような、匿名の批判が殺到したのです。

みんな「私は正しいことを言っている。あなたは間違っている」と言わんばかりです。しかし、本当に私は常に正しい良い人間なのでしょうか。何一つ間違ったことなどしない人間なのでしょうか。

震え上がった

私は、今から二十年前に「教誨師きょうかいし」という職務を拝命いたしました。教誨師とは、刑務所や少年院などの矯正施設において被収容者（受刑者）に徳性教育を施す篤志宗教家のボランティアです。十八年間、大津市にある滋賀刑務所で、二年前からは京都市にある京都刑務所で職務に当たっています。

二十年前、初めての滋賀刑務所での教誨活動の日。出務初日で緊張している私に、刑務官さんが「先生、初任の教誨師さんをからかったり、脅かしたりする被収容者もいるので、十分気をつけてくださいね」と言われました。刑務所に収容されている人と話すことが初めてであった私は、ただでさえ「ここにはどれほど恐ろしい人たちがいるのだろうか」と不安を抱えていたところにこの刑務官さんの言葉は、私を震え上がらせるには十分でした。

しかし、この日から今日まで、一体何人の被収容者の方々と面接してきたかも覚えていませんが、ただ一つ確かなことは、私をからかったり脅かしたりした人は一人もいなかったという

ことです。それどころか、罪に至った経緯を話しながら涙ながらに後悔の言葉を吐露されるとか、残してきた家族が犯罪者の家族だということとで差別を受けていることが申し訳ないとか、家族に手紙を書いても読まねば返ってくるのが辛いとか、出所後に再び罪に至らない生活ができるのかという不安だとか、そのようなことを皆さん話されることばかりでした。

さるべき業縁の

もよほさば

このような、被收容者の方々の言葉と想いに心を傾けているうちに、私はこう考えるようになりました。「罪に至り、塀の中で過ごしているこの人と、教師として徳性教育に当たって

いる私との間に、何かしら人間性の優劣はあるのだろうか。いや何もない。ならば、塀の中で作業着を着ている人と、塀の外から衣を着て出入りする私の違いとは一体何なのだろう。そう、それは人間性の違いなどではなく、罪に至るだけの縁(条件)が彼の身の上には整って、今の私には現在整っていないだけのことなのではないか。私の身の上、彼が罪に至るのに必要であった縁が整ったならば、私も彼と同じ罪に至ってしまうのだ」と。

『歎異抄』の中に、このような親鸞様と唯円様の会話があります。親鸞様が唯円様に「あなたは、私のいうことをに従うか？」と尋ねられます。唯円様は「はい、仰せの通りに」と答えられ

ます。すると、親鸞様は「では、人を千人殺しなさい。そうすれば、浄土往生は決定するから」と言われます。唯円様は「たとえ親鸞様のお申し付けであろうと、私には千人どころか一人の人でさえ殺すことなどできません」と答えられます。

すると、親鸞様は「もし、自分の思いの通りに行動できるのであれば、私が往生のために千人殺せと命令すれば、千人を殺せるであろう。しかし、あなたには一人を殺す縁も整っていないから殺さないのです。あなたが良い人間だから、殺さないではありません。あなたの身の上に縁が整えば、殺したくなくても百人・千人を殺すことになるのです。あなたも私も、縁が整いさえすれば、どのような

ことでもしてしまうのです」をおっしゃいました。

心豊かな社会へ

私は、良い人間だから罪を犯さないわけではありません。縁があればどのような罪にだって至ってしまう、そういう愚かな人間だったのです。そう思えば、他人の失敗や罪をうかつに批判したり非難したりは、私にはとてもできません。何故その罪に至らねばならなかったのかを共に考え、二度と同じ過ちに至らぬよう共に悩むしかありません。このようにお念仏の中で考えることができれば、きつと卑劣な誹謗中傷をして悦に至るような悲しい人間社会が、心豊かに生きられるお念仏の社会に変化していくのではないのでしょうか。



純正寺7月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ 一、五七一、八〇八個

六月も、多くの方々から少しづつ集めてくださったキャップをお届けくださいました。四、八一六個、お預かりしました。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

2日(日)・17日(祝)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉強と読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

8日(土)・22日(土)
16:00~18:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

彦根組後援「てられんけん」

9日(日)
14:00~17:00
年齢・性別は問いません

2年かけて、計12回で学ぶ、門徒推進員養成の連続研修会。教えが身につきます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

11日(火)・18日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くても柔らかい身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

13日(木)・27日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

いろいろな感染症が流行しています。感染対策しながら、楽しく学び、美味しくいただきます。

「月例法話座談会」

19日(水)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

23日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

久しぶりに、お食事を交えての月例会。住職の、藍綬褒章受章のお祝いも兼ねての歓談です。

こんき常例布教

25日(火)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、愛荘町河原了教寺の藤岡俊彦師です。

ほとけの子ども会「サマースクール」

31日(月)~8月1日(火)
小学生・中学生対象

ほとけの子ども会の、夏休みの恒例行事。七宝焼き教室や仏典アニメ上映、お朝事など、盛り沢山です。

ようこそ！純正寺サンガへ

平田町の溝上節子(法名釋慧力)さんが、この度新しく純正寺門徒会念仏サンガのお仲間にお入りくださいました。どうぞ、よろしくお願いたします。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookで生配信もします。